

池田健志^{たけし}さんが高齢者叙勲 瑞宝双光章(教育功労)を受章

教育振興における功績が認められ令和6年8月1日付けで、池田健志^{たけし}さん(御荘平城)が瑞宝双光章を受章しました。

池田さんは昭和35年に西海町立西浦中学校に着任して以降、町内小中学校の教諭として児童生徒の健全育成に努め、平成4年から一本松中学校長、平成6年から長月小学校長として地域の特色を生かした学校運営に励みました。特に、長月小学校では地域・保護者と連携し、地域の教育力を生かした体験学習に取り組み、より豊かな感性の育成と活動する意欲・実践力の定着に努め、たくさんのお子もたちに囲まれて充実した教員生活を過ごしました。



黒澤民彦^{たみひこ}さんが 瑞宝双光章(行政相談功労)を受章

平成16年に城辺町役場を定年退職した黒澤民彦^{たみひこ}さん(城辺甲)は翌年から委嘱を受け、行政相談員委員として現在まで19年にわたり行政相談活動に尽力してきました。その功績が高く評価され令和6年11月3日付けで行政相談功労を受章しました。



受章に際し、11月13日(水)に東京都で開催された伝達式に奥さまと出席し皇居で天皇陛下に拝謁した思い出を笑顔で話す黒澤さんは、「多くの方々に支えていただいたおかげで相談員としての活動を全うすることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。役場勤務で培った経験を生かし、恩返しのような気持ちで相談員を務めてきた」とこれまでの活動を振り返ります。

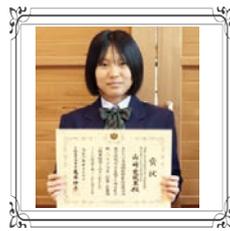
令和3年から愛媛県行政相談員協議会副会長も勤めている黒澤さんは、県下においても行政相談員としての見本のような存在で、「行政に関する困りごとや要望など全ての相談に寄り添い、これからの活動も励んでいきたい」と話しました。

租税意識の向上を目指して 税についての作文を表彰

令和6年度中学生の「税についての作文」の入賞者が表彰を受けました。町内からは、一本松中学校3年の保岡心菜^{こころな}さんが愛媛県知事賞を受賞するなど4人が入選しました。



■ 愛媛県知事賞
一本松中 3年 保岡 心菜^{こころな}さん
『給食と税と私たち』



■ 宇和島税務署長賞
篠山中 3年 山崎 史帆里^{しほり}さん
『安心・安全に過ごすために』



■ 宇和島地区租税教育
推進協議会長賞
御荘中 3年 稲田 帆乃佳^{ほのか}さん
『税で持続可能な温かいふるさとに』



■ 宇和島税務署管内
納税貯蓄組合連合会長賞
城辺中 3年 清水 史世^{りせ}さん
『私たちを支える税金』